

東日本大震災への支援について

3月11日、宮城県三陸沖でマグニチュード9.0というわが国の観測史上最大の地震が発生し、多くのかたがたがお亡くなりになられたことに対し、謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます

和寒町では、被災されたかたがたの復興に協力するため、未使用のタオル・バスタオルの支援物資などの受付を行いました。皆さまのご協力に対しまして、感謝申し上げます。

また、募金については、9月30日まで受け付けしています。

義援金の受付

義援金の状況

4月22日現在の義援金の金額は5,905,695円となっております。

大変多くの町民の皆さんからの善意に感謝申し上げます。

受付状況については、団体での受付分のみお知らせいたしますのでご了承願います。

団体名	金額(円)
仲町シルバーホープ	10,000
和寒小学校6年保護者有志一同	24,500
西町自治会	30,000
和寒小学校児童・教職員一同	55,338
和寒中学校生徒・教職員一同	46,446
和寒町三笠山大学	25,008
大通自治会	23,005
stiff neck mam	276,802
和寒町役場職員同交會	30,000
和寒町商業振興協同組合	30,000
遠藤農機 有限会社	10,000
有限会社 藤田造花店	100,000
株式会社 近藤組	1,000,000
ダンス愛好会	8,000
株式会社 ライフサポート	50,000
芳生苑職員一同	81,077
健康苑利用者・職員一同	9,561
YASU&ブラックビートルズコンサート来場者一同	36,047
三笠南自治会	204,000
太極拳和寒かたくりクラブ	10,000
太極拳和寒愛好会	10,000
恵みヶ丘自治会	60,000
SKILL ACTOR	30,905
三和菊野自治会	30,000
和寒町議会議員会	100,000
松風会一同	10,000
和寒町商工会女性部	63,000

団体名	金額(円)
和寒町役場公栄会	300,000
チャリティーダンスパーティ実行委員会	176,512
市町村職員年金者連盟上川支部和寒分会	30,000
仲町自治会	30,000
和寒町	2,000,000

【順不同】

支援の輪



義援金は、下記の場所にて受付しています。

募金箱の設置場所

- ・役場出納窓口
- ・町立病院受付窓口
- ・保健福祉センター窓口
- ・公民館窓口
- ・北星信金窓口
- ・JA北ひびき貯金窓口
- ・郵便局窓口
- ・丸ノ内商会様

募金箱設置期間 平成23年3月14日(月)～平成23年9月30日(金)まで

町民の皆さまから寄せられた善意の義援金は、中央共同募金会及び日本赤十字社の義援金窓口を通じて被災地の救援活動に役立てられます。

公営住宅を活用して被災者を受け入れます

東日本大震災の被災者のかたに向けて公営住宅での受け入れを開始しています。

受け入れ住宅の概要

1. 対象者など

対 象 者	必要書類など
震災による家屋倒壊等により住居を失ったかた	罹災証明書 罹災証明書がない場合は、免許証や保険証等で住所を確認し、後日、罹災証明書を提出
福島第1、第2原子力発電所事故に伴う、避難指示地区指示地域に居住されているかた	免許証や保険証等で住所を確認できるもの

2. 公営住宅

- ・戸数 8戸
- ・間取り 2DK~3LDK
- ・家賃 免除(敷金含む)
- ・支援期間 1年以内
- ・光熱水費 無料(全額町負担)
- ・日用品支給(洗剤、トイレットペーパーほか)
- ・設備など 町で用意いたします。

設備とは、灯油タンク・給湯設備・暖房設備・家電製品・寝具・ガスコンロ・照明器具など

- ・入居条件 震災の被災者及び一時避難者

民間住宅についても提供の申し出がありますので紹介いたします。

- ・戸数 4戸

- ・間取り 4LDK~7LDK 3戸 1LDK(2世帯仕様で家主居住) 1戸

住宅に関するお問い合わせは 役場建設課管理係(電話32-2424)まで

支援物資(タオル)の送付

和寒町では、東日本大震災で被災地に対し、町内の企業、団体、個人、多数のかたから未使用のタオル・バスタオルを提供していただき、支援物資として3月28日(一次搬送分)自衛隊を通じ被災地へ届けました。

また、2次搬送については、被災地の受け入れ態勢が整いしだい搬送します

提供いただいた支援物資の内訳

受付件数	タオル	バスタオル	割りばし
384件	11,604枚	485枚	10万膳 (北産木材工業㈱提供)

支援物資の受付は終了しております。

緊急援助隊派遣

士別地方消防事務組合では、被災地からの緊急援助隊派遣要請を受け、宮城県石巻市に北海道隊の派遣部隊の一隊として救急隊を派遣しました。

本町の和寒支署からは、3月22日から27日の6日間、第4次隊として秋濱消防司令補、4月17日から23日の7日間、第11次隊として窪田消防士長の2名を、それぞれ事務組合の隊員として被災地に派遣しました。



物資受付の様子



積み込みの様子



全国の消防が被災地へ

緊急援助隊救急活動レポート

秋 濱 修 二

東日本大震災に伴う緊急消防援助隊 第4次北海道派遣隊として23日の夕方に活動拠点である宮城県石巻市に到着し石巻総合運動公園内駐車場でテントによる野営を行いながら26日までの3日間、24時間体制で現地での救急活動を新潟県隊から10隊50名、北海道隊から6隊30名による部隊編成で活動にあたりました。

当救急隊が担当した出動件数は11件、主に避難所や被災住宅で生活しているかたを現地の医療拠点である石巻赤十字病院まで搬送収容する活動で、現地では朝晩は氷点下まで温度が下がり、日中も肌寒い日が続く中、電気や水道・暖房などもなく、また余震が続く中、環境の悪化やストレスなどによる呼吸困難や発熱・嘔吐・腹痛など震災に伴う症状の急患がほとんどでした。

また救急車で現場に向かう途中に見る市内の光景は道路やマンホールが陥没や隆起し泥や砂の粉塵が舞い埃っぽい状態で、車がおもちゃのように転がり、瓦礫が散乱し建物が破壊されている様子は、とても言葉では表現できないくらい悲惨な状況であり、改めて災害の恐ろしさと災害への備えが大切なことを痛切に感じました。